

カトリック八尾教会ニュース



2024年10月
Tháng mười

【今月の予定】

ミサの時間

6日(日) 年間第27主日 7:00

10:00

小教区評議会
(10時ミサ後、ホールにて)

7日(月) ロザリオの聖母

13日(日) 年間第28主日 7:00

10:00

消防訓練、大掃除

19日(土) 聖書の集い 16:00

20日(日) 年間第29主日

世界宣教の日(献金)

* <日本語ミサ7:00、10:00と

ベトナム語のミサ15:00は、ありません!!>

※インターナショナルデーミサ11:00

玉造聖マリア大聖堂にて

27日(日) 年間第30主日 7:00

10:00

故ラファエル松本武三神父様(2017.10.24)追悼

子どもとともにささげるミサ

「教区典礼研修会」14時~サクラファミリアにて



※10/20(日)は当教会でのミサはありません。インターナショナルデーミサ(11時)や枚岡教会(9時)、布施教会(11時)などにご参加ください。

また、玉造聖マリア大聖堂の駐車場は使えない為、公共交通機関をご利用ください。

【平日のミサ】木曜日 10:00 10日、31日 (*3日,17日,24日はお休み)

■フリーマーケット2024出店募集

開催日: 11月10日(日) 10時ミサ後 (雨天決行)

11:30~13:00 (13:30 片付け終了)

目的: 『教会を共同体(居場所)として感じる』

* 収益は各個人より八尾教会へ寄付していただきます。寄付金は教会青少年活動費や被災地等の支援金に充てられます。

締切日: 10月6日(日)

※その他、詳細は「フリーマーケット開催概要」「出店希望届」が配布されていますので、ご覧ください。
(行事委員会)

■2025年のカトリックカレンダー及び手帳の申込み受付開始！！

★カトリックカレンダー (通常) 定価一部 1100円 (税込)

★ドンボスコ社 手帳各種

*売店にてカタログ及び申込書を置いてありますので、ご記入ください。

切は10月末

(売店担当、古森)

■敬老の祝福式が行われました。

9月15日 10時ミサにて

当教会の75歳以上の方々にご案内を送り、当日のミサに
来られた方々に敬老の祝福式が行われました。

また、病者の塗油を希望される方には塗油が
おこなわれました。



■ベトナムの子どもの祭り(中秋節)が行われました！

9月15日 ベトナム語のミサ後

ベトナムにおいて、
伝統的な風習の一つ
で、獅子舞や子どもたち
の踊りや子どもたち
お菓子を配ったりと
子どもたちのための日
として、祝われました。



■産まれた年が1970年とのことに

崔 周永神父

産まれた年が1970年とのことに、自ら意味を感じていた。何故なら、韓国で本格的に産業発展
が始まり著しい変化が起きた年代の始めだったから。1969年産まれと違う、と子供の頃からずっと
思っていたのだ。小学生の時は都市化の進展を目の当たりにした。

住んでいた、大邱の中から田んぼがどんどん宅地にかわっていき、建物が建てられて、昔の面影
は、ますます無くなっていった。小学6年生の冬休みが終わる頃、お祖母さん家のある田舎、その
美しい自然が一気に破壊されていくのを見た。平野が広がっている所をくねくねと流れていた
小川が一直線になり、あっという間に川水が腐っていくのが子供の目にも、これは確かによくな
いなど映ってきた。そうなった後、自然破壊はもう止めが利かなくなっていた。何千年にわたって
出来ていた町の様子があんな短期間ですっかり変わってしまった。それに、世間もどんどん険しい
雰囲気帯びるようになっていった。

大学を休学して軍隊に入った。二つに分かれている国、その現実をだっぴり味わい、28か月14日間の兵役を終えて学校に帰って見たら、社会と学校には情報化が進んでいた。レポートを手書きではなく、ワード出力で提出することになっていて、コンピューターへの基本知識がなかったため、慣れていくのにかなり苦労した。それにLPレコードがCDに変わっていた。デジタル化の風がどんどん押し寄せてきた。携帯が普及し、公衆電話ボックスに立ち寄ることはもう無くなっていった。つれて、共同体性というのが薄くなっていった。もう人々は集まって何かをするより、それぞれ動くようになっていったのだ。

内燃機関の車から電気自動車へ移っていく時代を、今、私たちは生きている。人類は、化石燃料による環境汚染をこれ以上無視しては未来がないことに気づき、代表的な文明の利器の車に対して革命的な変化を試みている。バッテリーで駆動する車。これは、今まで進んできたデジタル化の終着点のようなもので、例えば、ガラ系の携帯からスマホに変わったように、あらゆる分野でものすごい変化を次々と催すだろう。産業構造は勿論、私たち人間の考え方もどんどん変えていこう。その影響が何処まで及ぶか想像もつかない。ある意味でAIによる変化より、自動車の電気化や無人化の方が著しいかもしれない。電気車は言ってしまうと、スマホに車輪が付いたようなものだ。スマホが世界をここまで変えたとしたら、動くスマホの威力とは！

中年の歳を越え、徐々に老年期に入りつつある自分。これから残りの時間を考えてみると、どれほどの変化がまた待ち構えているか恐ろしくなったりする。確かに言えることは、破壊してきた自然を取り戻すこと、人間は共に生きていくべきとの再知覚。それに神様に委ねながら生きていくべきとのことだ。

人間、その本来の姿、あるべき姿は人間自身を見つめるだけでは見えてこない。神様を見つめ、その鏡から映ってくるものに目をむけない限り、すべては人間の自惚れに過ぎない。よって、人間が造っていくものも高が知れてるものになってしまう。

